

(1)

最初につぼの中に入っていた白球の数が i 個以上、すなわち $s \geq i$ とする。

$i-1$ 回目まで白球が取り出され続け、 i 回目に初めて赤球が取り出されるから

$$P_i = \frac{s}{r+s} \cdot \frac{s-1}{r+s-1} \cdots \frac{s-i+2}{r+s-i+2} \cdot \frac{r}{r+s-i+1} = r \cdot \frac{s!(r+s-i)!}{(r+s)!(s-i+1)!}$$

$$\begin{aligned} P_i - P_{i+1} &= r \cdot \frac{s!(r+s-i)!}{(r+s)!(s-i+1)!} - r \cdot \frac{s!(r+s-i-1)!}{(r+s)!(s-i)!} = r \cdot \frac{s!(r+s-i-1)!}{(r+s)!(s-i)!} \left(\frac{r+s-i}{s-i+1} - 1 \right) \\ &= r \cdot \frac{s!(r+s-i-1)!}{(r+s)!(s-i)!} \cdot \frac{r+s-i-(s-i+1)}{s-i+1} = r(r-1) \cdot \frac{s!(r+s-i-1)!}{(r+s)!(s-i+1)!} \end{aligned}$$

$r \geq 1$ であるから、 $P_i - P_{i+1} \geq 0$ 、 $P_i \geq P_{i+1}$ が成立する。(証明終)

等号成立は、 $r=1$ のとき。

(2)

A が勝者となるのは、ちょうど奇数回目に初めて赤球が取り出されたときである。

A が勝者となる確率を a 、 B が勝者となる確率を b とすると

$r > 1$ のとき (1) より $P_{2i-1} > P_{2i}$ である。

$$\text{最初の白玉の個数が } s = 2m \text{ 個のとき } a = \sum_{i=1}^{m+1} P_{2i-1} > \sum_{i=1}^m P_{2i-1} > \sum_{i=1}^m P_{2i} = b \quad \therefore a > b$$

$$\text{最初の白玉の個数が } s = 2m - 1 \text{ 個のとき } a = \sum_{i=1}^m P_{2i-1} > \sum_{i=1}^m P_{2i} = b \quad \therefore a > b$$

いずれにしても、 $r > 1$ のとき $a > b$ 、すなわち $a > \frac{1}{2}$ である。

$r = 1$ のとき (1) より $P_{2i-1} = P_{2i}$ である。

$$\text{最初の白玉の個数が } s = 2m \text{ 個のとき } P_1 = P_2 = \cdots = P_{2m} = P_{2m+1} = \frac{1}{2m+1} = \frac{1}{s+1}$$

$$a = \sum_{i=1}^{m+1} P_{2i-1} = \frac{m+1}{s+1} = \frac{s+2}{2(s+1)} > \frac{1}{2} \quad b = \sum_{i=1}^m P_{2i} = \frac{m}{s+1} = \frac{s}{2(s+1)} < \frac{1}{2} \quad \therefore a > \frac{1}{2}$$

$$\text{最初の白玉の個数が } s = 2m - 1 \text{ 個のとき } P_1 = P_2 = \cdots = P_{2m} = \frac{1}{2m} = \frac{1}{s+1}$$

$$a = \sum_{i=1}^m P_{2i-1} = \frac{m}{s+1} = \frac{s+1}{2(s+1)} = \frac{1}{2} \quad b = \sum_{i=1}^m P_{2i} = \frac{m}{s+1} = \frac{s+1}{2(s+1)} = \frac{1}{2} \quad \therefore a = \frac{1}{2}$$

以上により、 $a \geq \frac{1}{2}$ が示された。(証明終)

$a = \frac{1}{2}$ となる条件は、 $r=1$ かつ s が奇数であることである。